

(課題名) 救急搬送患者における年齢別傷病多様性の解析—

Shannon エントロピーを用いた後方視的観察研究—

関西労災病院 救命救急科（以下、当科）では、「課題名 救急搬送患者における年齢別傷病多様性の解析—Shannon エントロピーを用いた後方視的観察研究—」という臨床研究を行っています。そのため、尼崎市で救急診療を受けた患者さんの搬送時情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は当院の臨床治験倫理審査委員会での審査・承認を受け、病院長による実施の許可を得て行います。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

【目的】

2024年1月1日から2024年12月31日までに尼崎市消防局により救急搬送された患者を対象として、年齢ごとの傷病分類、重症度、緊急度、搬送先医療機関の多様性を Shannon エントロピーにより定量化し、救急医療需要の年齢による変化を明らかにすることを目的とします。

Shannon エントロピーは、データの「ばらつき」や「多様性」を数値で表す方法です。例えば、救急搬送された患者さんがほぼ同じ病気で占められている場合は値が低く、さまざまな病気の患者さんがほぼ均等に含まれている場合は値が高くなります。このように、単に病気の種類の数だけでなく、それぞれの病気がどの程度均等に存在しているかも含めて評価できることが特徴です。

本研究では、年齢ごとに傷病分類、重症度、緊急度、搬送先医療機関について Shannon エントロピーを算出し、救急搬送患者の特徴がどの程度多様であるかを評価します。これにより、患者数や割合だけでは分かりにくい、年齢ごとの救急医療需要の複雑さを客観的に比較します。

【利用方法】

電子的に保存された救急搬送データを用いて、年齢、傷病分類、重症度、緊急度、搬送先医療機関および現場滞在時間を解析します。Shannon エントロピーを算出し、現場滞在時間との関連を統計学的に評価します。

【研究実施期間】

実施許可日 ～西暦 2027 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【対象となる情報の取得期間】

西暦 2024 年 1 月 1 日 ～ 西暦 2024 年 12 月 31 日

【対象】

2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに尼崎市消防局により救急搬送された 29,942 例を対象とします。

2. 利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢、性別、傷病分類、重症度、緊急度、搬送先医療機関、現場滞在時間

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

3. 利用又は提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日以降

4. 利用する者の範囲（研究責任者）

関西労災病院 救命救急科 高松 純平

5. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

自施設での試料・情報の管理責任を有する者：関西労災病院 竹原徹郎

6. 利用または提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には下記のお問い合わせ先にご連絡ください。停止の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の停止の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

当院の研究責任者

高松 純平

関西労災病院 救命救急科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail: jtakamatsu@gmail.com